

2005年度役員紹介

司法改革新制度実行元年における 「プロフェッション本来の仕事」 — 2005年度会長に就任して —

東京弁護士会会長 柳瀬 康治

陽春の候、会員のみなさまには、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

本年度の会長就任に際し、ご挨拶申し上げます。

「活気ある司法」の構築

司法改革は、種々の新司法制度が制度設計・法案化されて、本年は、今新設された諸制度の実行元年として、構想の時代から現実の制度運用の時を迎えました。

私達弁護士には、司法改革課題をまさに一つずつ実行していく「プロフェッション本来の仕事」が待っております。

弁護士会は、新制度の運用において、弁護士一人一人の実務能力が最大限発揮できるような環境を作り出すために、組織的、主体的に、人的物的な基盤を整備していくことが重要な責務であります。

新執行部といたしまして、改革された制度をわが国の司法にしっかりと根付かせ、司法を活気あるものにするため、今後運用段階で、遭遇する問題点について、その解決の方向性を会員に明確に提示し、常議員会等を中心として、さまざまな機会を通じて、多くの会員の意見に耳を傾けながら会員とともに司法改革の実行とさらなる改革の前進に邁進してまいりたいと思っております。

特に、日本司法支援センターの立ち上げに向けての万全の準備、裁判員制度の実施のための準備と刑事司法手続きの改善等が重要な時期を迎えますので、これらの取り組みを強化してまいります。

憲法問題

次に、本年は憲法改正問題が具体的な政治日程に上ってまいります。基本的人権の擁護と社会正義の実現

を使命とする法律家の団体として、憲法の基本原理を尊重し、立憲主義を確認しながら、憲法改正問題を考えるうえでの手がかりを国民に広く提供することが、私たちの責務であります。

そのためには、多くの会員が憲法問題の議論の輪に加わっていただき、共に考え、共に行動する機会を提供してまいりたいと思っております。

裁判所の充実など

東京地裁八王子支部の立川移転や東京簡裁調停部の墨田分室への移転に伴い、市民の利用の視点にたつて、裁判所庁舎のあり方について裁判所との協議、新多摩支部会館の建設や現在の八王子の弁護士会館の有効利用等の問題に取り組んでまいります。

「生き生きとした弁護士」の活動基盤

最後に、今後弁護士会は、将来の司法を担う若手弁護士が経済的不安を持たずに職務に邁進できるようにするため、社会のさまざまな分野に活動領域を広げる方策を早急に検討し実施する必要があります。さらに、複雑多様化する法的紛争に適切に対応するための専門研修のさらなる充実や会員がいつでも利用できる業務情報システムの構築などが早急の課題でありますので、こうした問題について、積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

この1年間、こうした山積する問題に微力ながら全力を傾注してまいりたいと存じますので、会員のみなさまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

実現したい、推進したい各種政策等の
詳細は、選挙公報に譲ることとし、
4月1日就任の新役員に
次の質問をしてみた

【質問】

- ①今、一番関心のあることは何ですか？
- ②一番大切にしていることは何ですか？
- ③長所、短所、趣味は何ですか？
- ④弁護士になって感動したこと・つらかったことは？

「活気ある司法、生き生きとした弁護士」のための環境造り

会長 柳瀬 康治



- ①司法改革新制度の実施に伴う諸課題（特に、日本司法支援センター、裁判員裁判、法曹増員の効果・影響等）への対応、憲法改正問題。
- ②「一番大切にしていること」と言われて、すぐに思い浮かんだものはありませんが、人との出会いと自己の初心を大切にしていきたいと思います。
- ③長所：楽観的（よく言えば、前向きに）に物事を考えること。

短所：楽観的すぎる、わがままなこと。
趣味：ゴルフ、園芸（野菜作り等）。田舎で育ち、都会で生活していることが、ある種のトラウマで、緑、山河、ふるさと、という言葉に弱いので、これとたわむれるようなことが趣味となっています。

④一つ一つの事件に、それぞれ、感動もあり、つらかったことも含まれているように思います。

力まず、焦らず、淡々と

副会長 川合 善明



- ①どのようにしたら、弁護士会が政治（司法政策決定）に対してより大きな影響力を発揮できるか、ということ。
- ②他人には優しくする。時間を守る。（願望も込めて）
- ③長所：我慢強い。嫌なことも早く忘れられること。短所：忘れっぽいこと。趣味：散歩、旅行（温泉大好き）。

④自分の弁護士としての発言が他人の人生の決断に少なからぬ影響を与えたことがあること（依頼者から、そのように感謝されたことがある）。つらかったのは、弁護士になって3年目頃初めて担当した少年事件の少年が、更生せずその後暴力団に入ってしまったこと。それと、どう考えても非常識な主張をする依頼者の事件を、かつて担当していたとき。

昨日よりは今日、今日よりは明日

副会長 伊藤 茂昭



- ①最近、塩野七生さんの「ローマ人の物語」を読み始めて、はまり始めています。その洞察力、政治体制に対する見識、とにかく彼女は凄い人だと尊敬します。
- ②健康です。酒は飲みません。飲まなくても飲んでいる人と一緒に騒ぐことができます。ウイスキーの水割りに見えるウーロン茶を勧めてくださる親切には心から感謝します。

③長所はどんなことがあっても落ち込まないこと。短所は時々人の話を上の空で聞いていること。趣味は宝塚観劇。ゴルフはしません。ボウリングは一人でも行きます。

④感動しやすい質で、芝居や映画でもすぐ涙が出ます。人生に一度という感動はこれからでしょう。つらいことは、朝早く起きること。長時間の会議にずっと座っていること。

馬には乗ってみよ、人には添うてみよ

副会長 栗原 周成



- ①理想を持ち続けることと、現実を直視することとの折り合いをどのように付けていけばよいのでしょうか。
- ②知情意のバランスを保つことに腐心しているのですが、日暮れて道遠しの感が強い。
- ③性善説を信奉し、比較的叩かれ強いところが長所といえば言えるのかもしれませんが、情に流されやすい短所がなかなか直りません。趣味は

囲碁・ゴルフ・テニスと間口だけ広いのですが、いずれもたいした腕でないのが我ながら情けない。

④事件処理がうまく行って依頼者と心が一つになったときが一番嬉しいし、逆に自分の努力が依頼者に通じなかったときが一番つらい。願わくば、この1年間に新たな感動の1ページを加えたい。

誠実、勇気、決断

副会長 富田 秀実



- ①当然に「東弁会務」。特に、裁判員制度センターをうまく軌道に乗せること。個人的には、在職中に、「日本酒道連盟」の会合に何回参加できるか。
- ②良心。自分自身を裏切らないこと。生活の面では、数少なくなった家族との団欒。
- ③長所としては、明るいこと、物事に拘泥しないところ。短所は、気が短いところ。最近はやや改善されつつある。趣味は、散歩と絵画鑑賞、そしてゆったりとして飲む美味しい日本酒。
- ④感動したことは、クリスマス・イヴの日に、人身保護請求によって、連れ去られた幼児を親元に取り返し、その親の涙を見たとき、と、「裁判員法」が成立したとき（30代の頃より三会陪審制度委員会の委員として欧米各国を調査してきた者としても、これ程早く国民の司法参加制度が実現できるとは想像できませんでした）。つらかったことは、無罪を主張して争っていた被告人が収監先で急逝したとき。

「司法改革は、市民の視点から」「弁護士会には、活力を」「若手会員には、夢を」

「中堅会員には、ゆとりを」「先輩会員には、安定を」「東弁職員には、夢ある職場を」

副会長 安井 規雄



- ①2005年4月1日から、来年3月31日まで会員の皆さんの負託に応えることができるかどうか。
- ②生きてこそ人生であり、咲いてこそ花なら、市民の基本的な人権を守ってこそ弁護士である。この弁護士の使命。
- ③長所は明るいこと、短所は頭が単細胞であること。趣味はジョギング、ガーデニング、古切手収集。
- ④弁護士になって感動したことは、暴力を振るう夫をやむにやまれず殺害してしまった妻が、第1審では実刑となった件を、第2審から受任し、この妻に執行猶予判決が言い渡されたこと。つらかったことは、努力をしても報われない結果であったとき。

明るく、楽しく、元気よく

副会長 塩川 治郎



- ①弁護士が急増する中で、弁護士が果たすべき役割がどのように変わっていくのか、また、私たちの仕事や生活がどのように変わっていくのか、ということに関心があります。
- ②一番大切にしたいのは、もちろん家族ですが、私にとって最大の問題は、それが十分に実行できていないということです。
- ③周りからは典型的なB型人間（本人は周囲に気を使っているつもりだが、周囲はそのマイペース振りに振り回されている）と言われています。テニス、ゴルフ、スキーなど体を動かすことは好きですが、一部では味音痴と言われています。
- ④確実な見通しを立てることが難しいような事件は、依頼者と自分を信じて努力してよい結果を出せたときには感動しますが、逆の結果に終わったときはやはりつらい思いをします。

こころよく我にはたらく仕事あれ

監事 白井 剣



- ① 1日も早く監事の仕事に習熟し、職務を全うできるようにすること。今はそのことで頭がいっぱいだ。
- ② 小学3年の扇（おうぎ）とのふれあい（結婚11年でようやく授かった一人娘なので、食べちゃいたいくらいかわいい。これ以上大切なことは私にはない）。
- ③ 真面目だということの他には、これといった長所が何もないので、いつも困っている。短所は感情的になりやすいこと（常に自戒はしている）。趣味はない。
- ④ ヤコブ病薬害事件（脳硬膜製品移植により死の病に罹患した被害）での被害者、家族、遺族たちの姿には心が震える思いがした。もっとも、どんな事件であれ弁護士の仕事は、連続的な「つらいこと」と散発的な小さな「感動」を必ず伴うといってもよいのではないかと考えている。

少年の心に、大人の財布

監事 笹浪 雅義



- ① 東弁財務の問題として関心のあるものは、OAの刷新、公設事務所の健全な運営、特別会計の見直しです。また、会員の皆様が、予算や財務に興味を持っていただくための広報です。
- ② 大切にしたいものは家族ですが、必ずしも大切にできていないところが課題です。
- ③ 長所：会務の誘いをできるだけ断らないこと。短所：会務の誘いをなかなか断れないこと。趣味：継続的な趣味にできるほど効果のあがらないダイエットの方法（理論より実践とはわかっているのですが…）。
- ④ 残念ながら手記を書けるほどの感動的な事件という経験はないのですが、日常の中の小さな感動としては、皆様と同様に依頼者や被告人から「ありがとう」の言葉をいただいたときです。弁護士をしていてつらいのは、自分の説明不足に起因することがほとんどですが、依頼者とのコミュニケーションがうまくゆかないときですね。